



1日目
8月1日(木)



1日目 8/1(木)

担当者:篠崎 快

時刻	場所	内容
4:30	入間市役所 集合	朝早くからの集合でしたが、みんなが期待と楽しみの気持ちを持って集合しました。
4:45	バス出発	朝が早かったためバスではみんな寝ていました。
7:00	羽田空港 到着	羽田空港では時間がありみんなと会話をして飛行機の緊張をほぐすことができました。
9:40	羽田空港 離陸	飛行機は久しぶりで緊張もありましたが飛行機内でも楽しむことができました。着陸時に機体が急降下したことがトラウマになりました。
17:00 (現地時間)	ミュンヘン空港 着陸	私にとって初めての海外で空港からでも日本とは異なる雰囲気を感じ取ることができました。
17:45	バス出発	 ヴォ市の職員の方と通訳の方とのバスでの移動で飛行機で疲れて寝てしまいました。
19:00	歓迎会会場 到着	初めて、ホストファミリーと対面をしてとても緊張しましたが笑顔で話してくれたので良かったです。
19:15	訪問団歓迎会	 ホストファミリーとの会話がうまくいか不安がありましたが、ご飯を一緒に食べることによって場が盛り上がり仲良くなれました。
21:00	歓迎会終了	他のホストファミリーとの交流もすることができました。
21:15	ホストファミリー宅 到着	日本人がいない空間でしたが積極的に話すことができました。
22:30	就寝	飛行機の疲れを取ることができました。



2日目
8月2日(金)



2日目 8/2(金)

担当者:金子 柚良

時刻	場所	内容
9:00	ヴォルフラーツハウゼン市役所	 市役所で市長や市職員の方々とお会いしました。入間市とヴォルフラーツハウゼンの意見交換やヴォルフラーツハウゼンの環境についてやりサイクルなどの取り組みについて教えてもらいました。
10:00	陶磁器絵付体験	 ケラミック・マル・アンダースに行き、陶磁器絵付体験をしました。自分たちの好きなお皿やコップ、置物などを選び絵を描きました。
12:00	昼食	お昼はアトスへ行きました。ドイツ語で全て書かれていたので何もわからなかったですが、ホストファミリーの子たちが詳しく説明してくれたのでみんな食べたいものを選ぶことができました。どれも美味しい料理でした！
15:00	養蜂場見学	 養蜂場見学をしました！ミツバチが自分の部屋に入ったり出て行ったりするのをすごく間近で見ることができました。巣から出ていく蜂の方が高く飛んでいき、入ってくる蜂の方が花粉を運んでくるため低く飛んでいることを教えてもらいました。 その後、小屋に入り蜜露や蜂の巣を見て、蜂蜜や蜂の巣を食べました。
16:30	休憩	アイスクリームを食べにクリスタッロに行きました。それぞれ2種類のアイスフレーバーを選ぶことができました。すごく美味しかったですが、とても甘かったので1ヶ月分の甘いものを摂取した気分になりました。

17:00

射撃体験



射撃団や射撃の歴史について学びました。射撃の銃は4キロ程あったので、思いのほか重かったです。的の真ん中近くに撃てるとすごく気持ち良くなりました。みんなすごく上手く楽しかったです。



3日目
8月3日(土)



3日目 8/3(土)

担当者:金田 千紘

時刻	場所	内容
8:20	マリエンプラッツ集合	
10:00	Tegernsee lake	 遊覧船に乗って湖を一周しました。美しい山々に囲まれていて、風がとても気持ち良かったです。 ここは高級別荘地としても知られており、休暇を楽しんでいる人たちが多く見られました。
11:45	昼食	 Bräustüberl というレストランで食事をし、バイエルンの美味しい料理を楽しみました。昼食後は、レストランの隣の教会を見学しました。ちょうど結婚式が行われていて、日本とは異なるスタイルの教会での結婚式を見ることができました。
13:40	Wallbergbahn	  ロープウェイで山頂まで行きました。山頂には展望レストランや教会があり、テーゲルン湖を見下ろすことができます。天気が良く、パラグライダーを楽しむ人もいました。 ロープウェイの駅よりさらに高い場所は、歩いて登ることができます。頂上が近づくほど足元が悪くなり大変でしたが、上から見た景色は素晴らしいかったです。

16:20	Naturkäserei TegernseerLand	 予定にはありませんでしたが、酪農場に行きました。ここではチーズの製造から販売まで行われており、チーズの製造方法が学ぶことができました。熟成庫には数えきれないほどのチーズが並んでいました。
18:00	ヴォルフラーツハウゼン市 到着	



4日目 8月4日(日)

各ホストファミリーと過ごした1日(担当者:全員)



4日目 8/4(日)

担当者:藤井 葵

時刻	場所	内容
10:30	朝食 ホストの家	 ドイツに来て初めてゆっくり過ごした朝でした。この日はホストシスターと一緒にパンケーキを作りました。ホストマザー手作りのジャムと一緒に食べました。
11:00 -11:50	移動 ホストの車	家が隣の金田さんファミリーと一緒にドイツの昔の家を見ることができる公園に行きました。車の速度が 170km ですごく驚きました。
12:00 -15:00	公園散策	1734 年に建てられた家や水車などを見ました。倉庫に置いてあったかがしがヨーロッパの方のお顔をしていて素敵でした。パンを焼いたり、私が日本から持ってきたカステラをみんなで食べました。   
16:00 -17:30	スライダー スキー場	金田さんファミリーとお別れをして、スキー場に行きました。ここでは夏の間、スライダーやビーチバレーをすることができます。初めてのスライダーだったので怖くて何度もブレーキをかけてしまいましたが、とても楽しかったです。
18:30	夕食 ホストの家	パンを毎日食べていたため、すごくお米を食べたくなりホストファミリーにお願いしました。スーパーで私が選んだお米を炊き、ホストマザーがおかずを作ってくれました。私になんのソースにしようか迷っていたら、醤油があることを教えてくれ、久しぶりに日本の味を堪能しました。

19:30	うさぎの餌やり 近所の家	 ホストファミリーの近所の方が、イタリア旅行に行っているため、ペットのうさぎに餌をやりにいきました。2匹ともすごく可愛くて癒されました。
-------	--------------	---

4日目 8/4(日)

担当者:金田 千紘

時刻	場所	内容
9:00	朝食	ホストマザーがバイエルンの伝統的な朝食である Weißwurst を用意してくれました。ホワイトソーセージは皮をむいて食べると教えてもらいましたが、ナイフとフォークに使い慣れていなかったため、とても難しかったです。
11:10	出発	ホストファザーの運転で Glenteleiten に向かいました。高速道路では最高時速 180 キロで走っていたので、とても驚きました。
11:40 -15:00	Glenteleiten	私のホストファミリーと藤井さんのホストファミリーと一緒に went to Glenteleiten. In the village hall, we saw various traditional tools and agricultural machinery. There were also workshops where we could experience traditional crafts. We roasted bread over an open fire and listened to traditional music while dancing. It was a very precious experience.    

16:00	帰宅	 一緒にオリンピックを観たり、UNO で遊んだり、ケーキを食べたりして、ホストファミリーとの時間を楽しみました。ホストマザーのお母さんが手作りしたベリーパイがとても美味しく忘れられない味です。
19:00	夕食	ピザをテイクアウトして、みんなで分け合って食べました。平日は仕事があって全員の時間を合わせることが難しかったので、一緒に食事をしながら色々な話ができて嬉しかったです。

4日目 8/4(日)

担当者:近藤 壮輔

時刻	場所	内容
6:00	起床	(ホストファミリーの方は8時起床)まず朝起きて驚いたのが、なかなか朝食ができたと言われないのでいつ朝食の時間になるかを聞いたところ、私たちは遅めの朝食をとってお昼は食べない！と言われたことです。日本でもこのような家庭もあるのかもしれませんが、私が出会ってきた人の中で知っている限りこのような人はいなかったのが一番印象的です。 その後いつも通りパン屋さんへ。
10:00	出発	家を出て München 方面へ出発
11:00	München-Nymphenburg 植物園 散策	想像していたよりも面積的に広く、第一印象は「本当に1日では回りきれぬのだろうか」ということでした。実際は、この後 Nymphenburg 城に行く予定だったのでサクサク足早に回りましたが、それでも興味を惹かれるものが無数にありました。日本では見ることのできない植物があったり、日本で見ることが出来る植物でも、栽培方法が少し違っていたり、日本で植生的に見られる植物でも、日常的に見ている環境とは大きく異なっていた部分も多々ありました。 また一番興味深かったのは、「野菜の展示」をしていたことです。日本の植物園ではそのようなものを見たことがなかったので、とても印象強かったです。たまに来訪客がトマトを食べていたりする光景も見られました。そして日本の植物園とは規模が全く違い、世界の地域(「アジア」や「アフリカ」など)毎に温室が別れていたことが最も興味深かったです。
		
14:30	Nymphenburg 城 散策、城内見学	城内の展示用パネルがドイツ語で読めるのかどうかと思っていると、「日本語の音声案内があるらしいよ」とホストファミリーの方から聞きました。そのおかげで、より充実した観光になりました。 もとより世界史はあまりよくわからないのですが、よりそれに対する理解が深まりました。 (ちなみに昼食はありません)
		
15:30	出発	(途中で墓地(英:tomb、grave ではありません)を見学、路面電車で1ブロック分乗車、その後は車移動)
16:00	BMW(プラントやその周辺)到着、BMW	そこで、ナンバーの末尾にEがついている車は電気自動車であること、ナンバーの末尾がHの車は所謂「クラシックカ

	博物館見学	ー」であることを知りました。日本で見たことがあるような車から、初見の車も多くあり、圧倒されていた自分がそこにいました。 
--	-------	---

4日目 8/4(日)

担当者:篠崎 快

時刻	場所	内容
10:00	起床	
10:15	朝食	プレッツェルと白ソーセージのドイツの朝食を食べてとても美味しかったです。
11:30	電車	日本との電車の違いを感じることができました。
13:00	アリアンツアリーナ (サッカースタジアム)到着	私の好きなサッカーのスタジアムに行くことができ、滅多にできないことを体験することができました。ホストファミリーがスタジアムツアーのチケットを買っておいてくれたので内部まで入ることができ、とても楽しかったです。
		
16:00	オリンピアパーク 到着	かつてオリンピックが行われた公園に行きました。その公園はちょうどイベントが行われていたのでイベントも楽しむことができました。
		
18:00	ホストファミリーの 息子の大学 到着	日本の自分が通っている大学との違いを実際に見て感じることができました。
19:30	夕食	ドイツ名物のシュニッツェルを食べてとても美味しかったです。
21:30	就寝	1日歩き回っていたのでとても疲れてすぐ寝てしまいました。

4日目 8/4(日)

担当者:金子 柚良

時刻	場所	内容
9:00	出発	家族みんなで高速に乗りノイシュバンシュタイン城へ行きました。日本と走行が反対だったので乗っていて不思議な感じがしました。
11:30	ノイシュバンシュタイン城 到着	ノイシュバンシュタイン城に到着し、15:00 のチケットが取れました。まだ時間があつたので、早めのお昼を食べました。お昼はホットドッグとアイスコーヒーを食べました。アイスコーヒーは日本と違い、コーヒーの上にアイスが乗っていてとても美味しかったです。
13:00		お城に入るまで時間があつたので湖へ行ってボートに乗りました。 水が透き通っていて、湖から見えるお城がとても綺麗でした。ボートも気持ちよかったです。
15:00		ノイシュバンシュタイン城の中へ入り、ガイドさんの説明を聞きながら、絵の説明や部屋の説明などを聞きました。
16:30		 ノイシュバンシュタイン城は高い場所にあるため、帰りは馬車に乗って下まで降りました。
18:00	夕食	帰り道にあったレストランで、シュペッツェレとビールを頼みました。ドイツに来て初めてのビールを飲むことができ嬉しかったです。

4日目 8/4(日)

担当者:湯浅 凛花

時刻	場所	内容
8:00	朝食 ホストファミリー宅	 テラスで朝ごはん♪ マンゴージュースとフルーツティーをミックスしたターラ―家特性のドリンクをいただき、優雅な朝を過ごしました！
9:30	出発	たくさんおしゃべりをしながらのドライブで、終始ワクワクした時間でした！
10:30	ニンフェンブルク宮殿	 バイエルン王家の夏の離宮、ニンフェンブルク城。直訳すると「妖精の城」という意味のこのお城は、真っ白な優美さをもち佇んでいました。周りはハイキングコースともなっており、どこかゆったりとした時間が流れていました。日曜日の午前だったため家族の時間がぎゅっと凝縮されたような雰囲気を感じ、家族に入れてもらっている嬉しさをひしひしと味わいました。
12:30	昼食 レストラン	偶然入ったお店に、ホストファミリーのルイスが手がけた家具が置いてあって、話が盛り上がりました！
14:00	ダッハウ強制収容所	私の学んでいることに耳を傾けてくれ、受け入れてくれ、ここに連れて来てもらいました。 感謝しかありません。 想像はしていましたがやはり衝撃は大きく…感情がぐちゃぐちゃになりました。ここで感じた思いをずっと持ち続けていきたい、二度と繰り返さないためにはどうしたらいいのかを考え続けていきたいと強く強く思いました。ホストマザーにぎゅーっとしてもらって、心が少し軽くなりました。

18:30

帰宅～近くの川にサイクリング



20:30

夕食 ホストファミリー宅

バイエルン地方の有名な筏下りの場所を見せてもらいました！



4日目 8/4(日)

担当者: 舘越 彩香

時刻	場所	内容
朝	朝食	 朝食はエッグスタンドにゆで卵を載せナイフで殻を削りながら食べました。映画に出てくるヨーロッパ貴族のような食事方法がとても楽しかったです。
午前	バイエルン国立博物館	 ドイツの歴史や文化を学びたいという私の希望を聞いてくれ、ホストファミリー全員で歴史と文化の両方を学べる施設を探してくれました。バイエルン国立博物館を訪れました。 ミュンヘンに向かう道程は有名な高速道路アウトバーンを利用し、速度無制限の世界を体験しました。時速200kmの運転は風が車と当たる音が大きく、ハンドルを少し動かただけで車が左右に大きく揺れとても怖かったです。 速度無制限は世界で唯一、ドイツのアウトバーンでのみ体験することが出来るため、高速道路がある意味一番の異文化体験となりました。 バイエルン国立博物館はお城のような外見でとても大きくドイツだけでなくヨーロッパ各国の貴重な史料を見学することが出来ました。 

昼	イングリッシュガーデン 散策 昼食		その後、イングリッシュガーデンを散歩しビアガーデンで昼食を取りました。 柵で囲まれたエリア内には多くの飲食店が存在し様々な店で食べ物を選びましたが、その場で支払いをするのではなく柵から出るときにまとめて支払いをするスタイルでした。 飲み物にはグラス一つにつきコインが一枚着いてきます。グラスを返却する際にコインも返却することで飲み物代の一部がキャッシュバックされるシステムで高価なビールカップが盗まれることを防ぐためだそうです。 支払い方法一つをとっても日本とは全く違うことが分かりました。
午後	ニンフェンブルク宮殿 散策		夕方にニンフェンブルク宮殿を散歩しました。ホストファミリーと様々な意見を交換しながら宮殿内のカフェに入りました。カフェからの景色が美しく時間がゆっくりと過ぎるように感じられたことを覚えています。 この一日でホストファミリーとの絆がより深まったように感じられたとても充実した一日となりました。



5日目
8月5日(月)



5日目 8/5(月)

担当者:湯浅 凛花

時刻	場所	内容
8:15	駅 集合	
8:45	Sバーン(鉄道の名前)	のどかで美しいドイツの田舎の風景にひたりつつ、電車で揺られてミュンヘンへ。
9:30	ミュンヘン駅 到着	バスの時刻までゆとりがあったので、近くのお店でショッピング！
10:00	観光バス ミュンヘン市内 観光	ミュンヘンという都市の起源、宮廷文化、そして知的インフラで栄える今について学びました。音楽好きの私にとっては、ミュンヘンフィルハーモニー管弦楽団の本拠地であるガスタイク文化センターの横を通れたことが嬉しかったです♪
11:30	昼食 ホーフブロイハウス	  ドイツで一番有名なビアホール！ここに来たからにはとビールを注文！ミュンヘン名物の白いソーセージとプレッツェルも堪能しました。モーツァルトやエリザベートが訪れたことがあるなんて！想像すると胸がトキメキました。いつかオクトーバーフェストに行けたらいいな！
12:00	ミュンヘン市庁舎とその周辺 散策	正午を知らせる Glockenspiel(仕掛け時計)がとにかく可愛い市庁舎！実は私は、この光景を見るのは2度目で、、、鐘の音を聴いた瞬間、初めての海外旅行に心躍っていた去年の気持ちがぱっと蘇って、なんだか泣きそうになっていました笑。まさかもう一度来れるとは思ってもみなかったもので、本当に嬉しかったです。 教会や有名なバイエルン州立歌劇場、野外市場を散策しました。教会のカタコンベ(地下の墓)を見に行ったグループもあったようです。 歩き疲れたところで、ミュンヘンによくおでかけをするというヘレンがカフェに連れて行ってくれました。美しい街並みを見ながら食べるケーキは格別でした！   

16:00	イーザル門 集合 ヴォルフラーツハウ ゼン市到着	電車出発。お土産をたくさん抱え、たくさんおしゃべりをした帰り道。とても幸せな帰路でした！
-------	------------------------------------	--

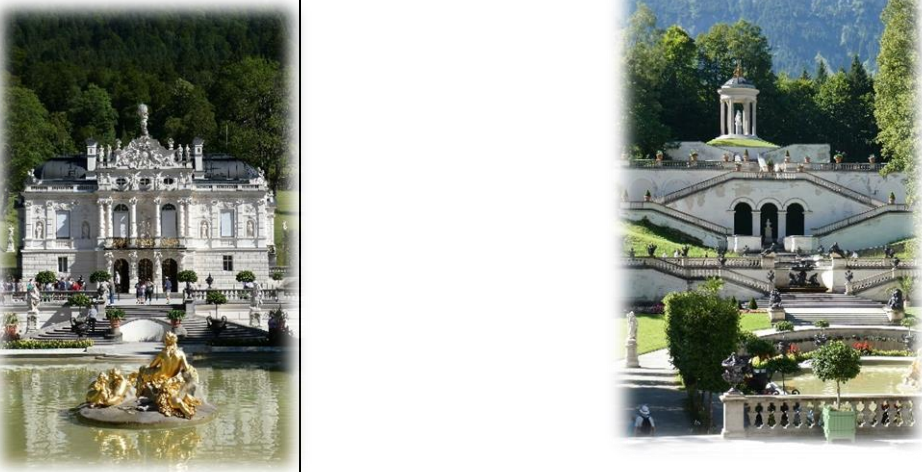


6日目
8月6日(火)



6日目 8/6(火)

担当者:近藤 壮輔

時刻	場所	内容
8:00	Marienplatz 集合	
9:00	リンダーホーフ城 散策	リンダーホーフ城が小さいながらもその荘厳さに気圧されました。”西洋建築の城”というネームプレートを掲げているようなお城でした。 
12:00	昼食 Bräustüberl	バイエルン料理
14:00	Ettal 修道院 散策	日本の「教会」等とは印象に大きな懸隔があり、その第一印象は「白い」というものでした。また、華麗に隅々まで整備された西洋式”庭園”があり、それにも心が惹かれました。 
16:00	出発	
17:00	ヴォルフラーツハウゼン市 到着	



7日目
8月7日(水)



7日目 8/7(水)

担当者: 舘越 彩香

時刻	場所	内容
8:25	集合	自転車に乗り集合場所へ 新鮮な空気と朝の光が気持ちよかったです。
8:30	青少年保護協会の方と交流	 日本とは違う学校の仕組みや学童の取り組みを学ぶことが出来ました。小学生と一緒に遊んだりカーテンを作りました。
12:30	昼食	ハンバーガをみんなで食べました。外での食事はピクニックのようで気持ちよかったです。
13:30	jugendhaus la vida	jugendhaus la vidaという学校の近くの学童のような場所でドイツの子供の成長や保護についての取り組みを学びました。日本にはない制度で素晴らしいと思いました。
14:30	市内散策	 スーパーや本屋さんを自由に回りお土産を買いました。魅力的なものが多く買いすぎてしまいました。
16:00	ホストファミリー宅へ一時帰宅	荷物の整理やお別れ会の準備をしました。
17:50	お別れ会 準備	レストランにてお別れ会の準備 折り紙や習字の準備が時間ギリギリになってしまい焦りました。
18:00	お別れ会 開始	  日本のメンバーは法被を着ました。ドイツの方々は民族衣装を着ており、美しかったです。お世話になった方々の前での合唱がとても緊張しました。習字はホストファミリーと一緒にお互いの名前を書きました。ホストシスターが喜んでくれたことが嬉しかったです。

21:30	お別れ会終了 ホストファミリーの 家へ帰宅	ドイツのお土産をたくさんプレゼントしてくれました。私が美味しいと言ったものを覚えておいてくれ「日本の家族に食べさせてあげて」と渡してくれました。家族全員で最後の晩酌をしました。テキーラを飲みながら一週間の思い出話をしました。本当の家族のように親切にしてくれ、とても仲良くなったため明日のお別れが辛く感じました。 
-------	-----------------------------	---

8・9日目
8月8日(木)
8月9日(金)



8・9日目 8/8(木)・8/9(金)

担当者:藤井 葵

時刻	場所	内容
7:00 -7:30	朝食 ホストの家	 最後のホストファミリーと食べる朝食でした。私が美味しいと言った食べ物を全部用意してくれました。最後に折り紙で作った鶴と手紙を渡しました。
7:45 8:00	お別れ マリエンプラッツ 空港への移動 バス	みんなが持っているスーツケースや大きな荷物を見て、帰るんだと改めて感じ寂しくなりました。バスが来ると多くの人が涙を流していました。特に私はホストファミリーが空港まで来れなかったのも、ここでお別れでした。ハグをしてみんなで寂しさを分かち合いました。  バスの中ではお別れの時とは変わって、みんなで仲良く話をして笑い声がたくさん聞こえました。ミュンヘンの建物など最後にも新たな発見や学びがありました。
9:45	チェックイン 空港	空港では最後の試練がまっていました。それは預け荷物の重量調整です。たくさんのお土産で行きよりも荷物が重くなっていました。何度も計りに乗せ、23kg を超えないために協力して頑張りました。
10:20	空港内探検 空港	荷物を預けた後は少し時間が合ったため、空港内を探検しました。テラスに行き飛行機を見たり、何度も写真を撮ったりしました。
11:00	最後のお別れ 空港	出国の時間になり、本当のお別れの時間が来ました。再度会えることを願って、姿が見えなくなるまでみんなでお手を振りました。

12:40	移動 飛行機	  飛行機に乗り日本に帰れるのがどんどん楽しみになってきました。機内食ではうどんが出て、みんなで「日本の味だ」と美味しく食べました。行きは大きい揺れがあったので、また飛行機が揺れないか怖くなり、少しの揺れでもイスにしがみついていた。
9日 8:00 (日本時間)	移動 空港	大きな揺れもなく、無事日本に着きました。入国カードを書き、荷物を受け取って日本に帰ったことを実感しました。
8:30 -12:00	移動 バス	入間市役所に向かうためバスに乗りました。暑さと湿度にびっくりして、これから日本で生きていけるのか不安になりました。途中のパーキングエリアでは、お茶やおにぎりなど日本を感じられるものを買いました。久しぶりの日本のコンビニやご飯に感動しました。
12:00	入間市役所	市役所の職員の方がお出迎えしてくれました。無事に到着したことを伝え、解散しました。